

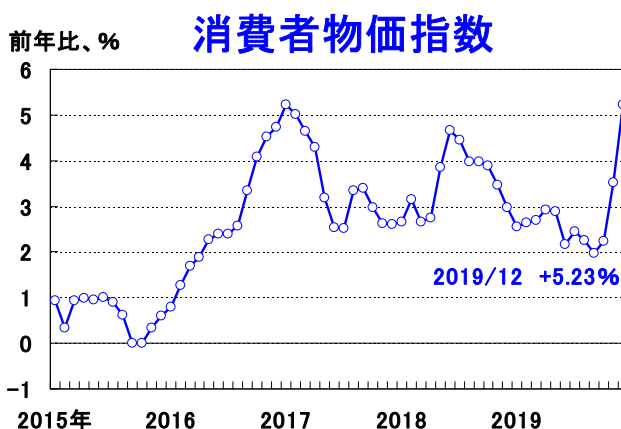
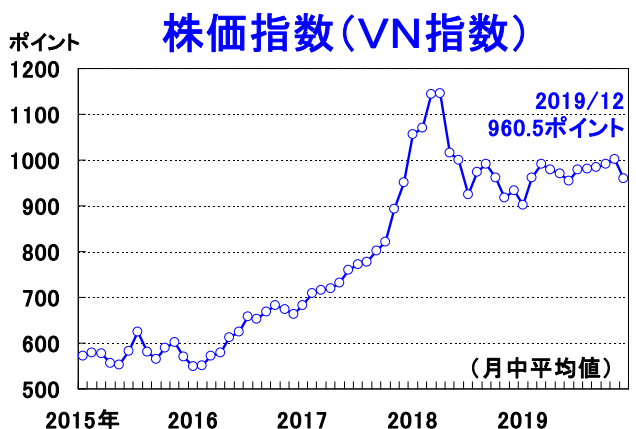
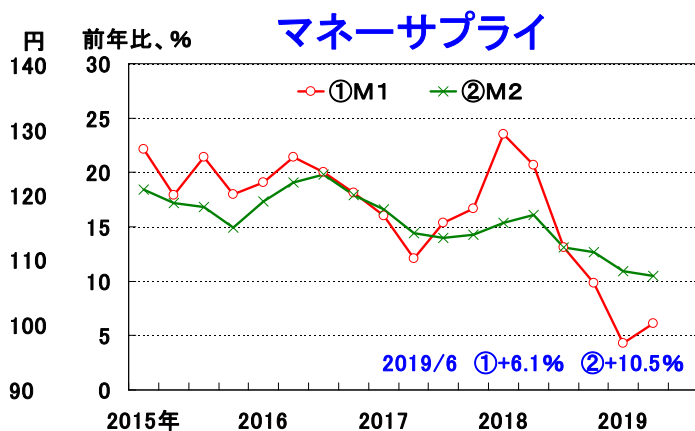
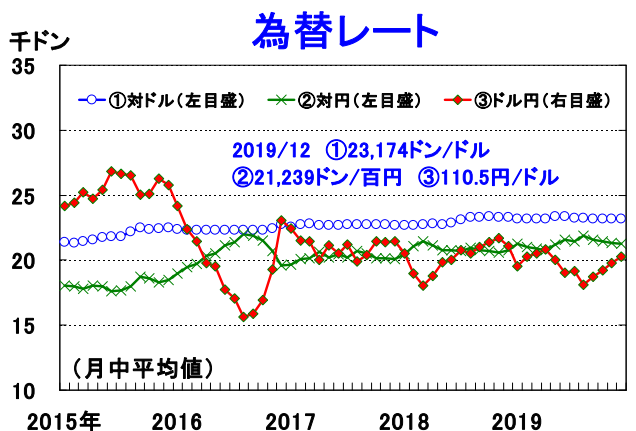
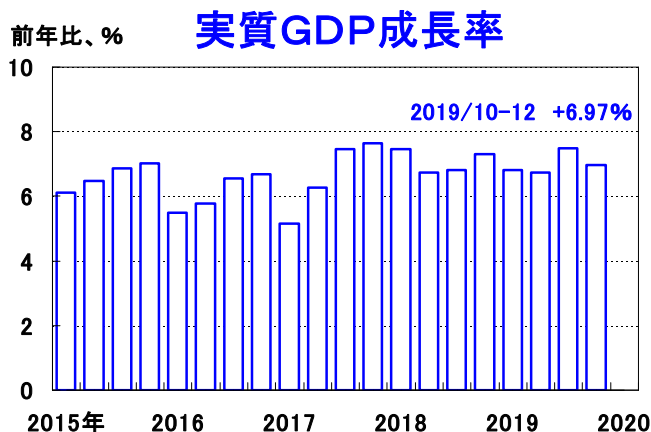
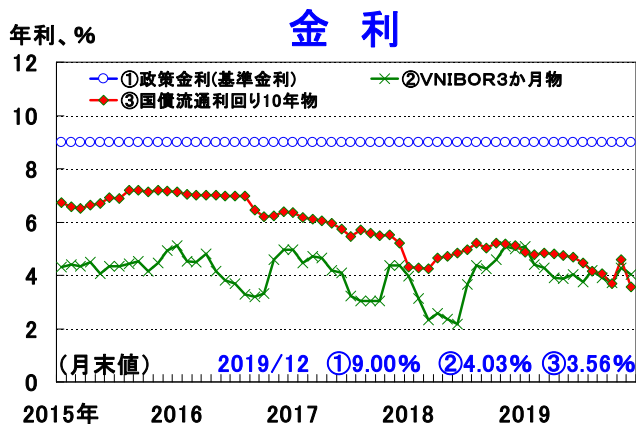
グラフで見るベトナム経済 2020年1月号(No. 120)

2019年10～12月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+6.97%(推定値、前期は同+7.48%)と、成長率が低下した。サービス業(7～9月期:前年比+7.28%→10～12月期:同+8.09%)が伸びを高めたものの、鉱工業・建設業(7～9月期:同+10.16%→10～12月期:同+7.92%)は減速し、農林水産業(7～9月期:同+2.00%→10～12月期:同+1.62%)も増勢を弱めた。また、製造業の景況感をみると、10～12月平均の製造業PMIは50.6と中立水準の50を上回ったものの、2015年10～12月平均以来の低水準にとどまった。

【足元の景気判断】

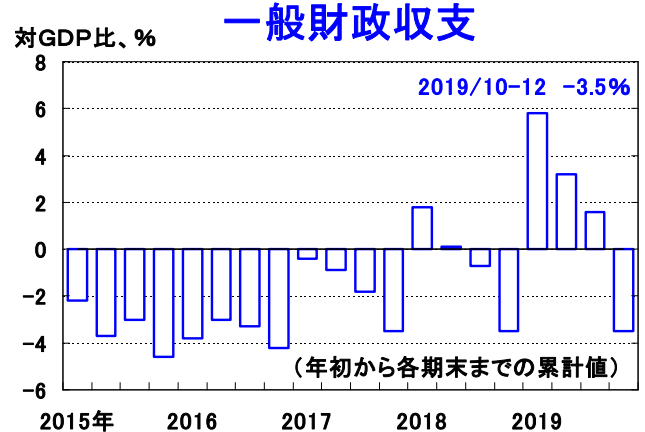
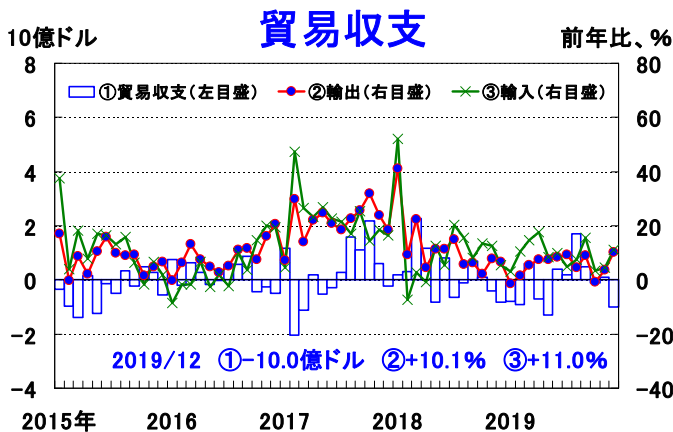
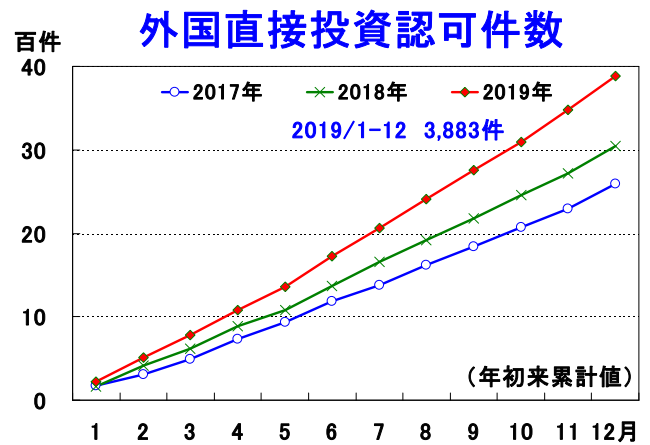
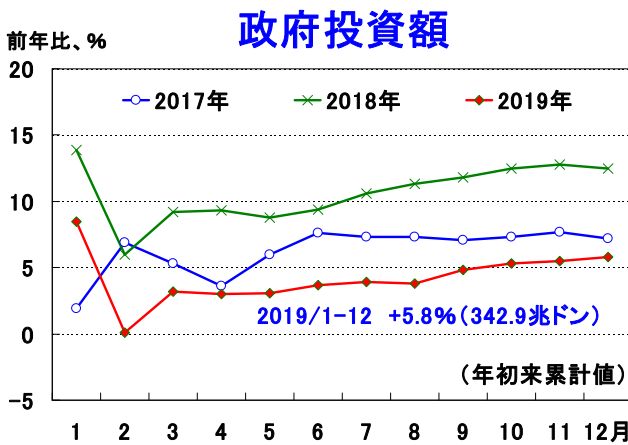
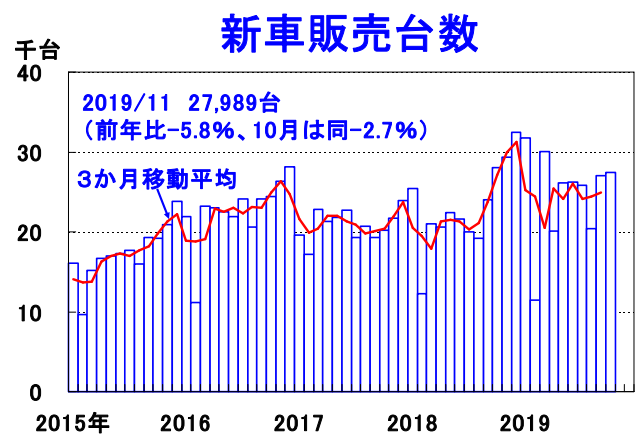
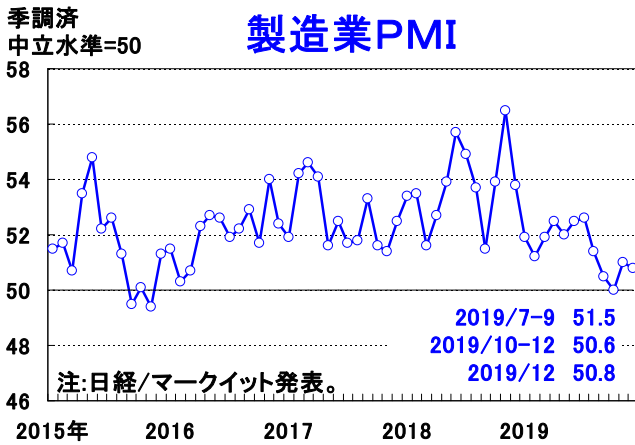
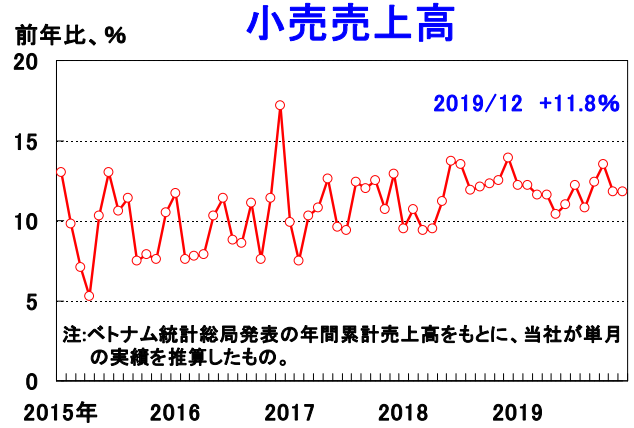
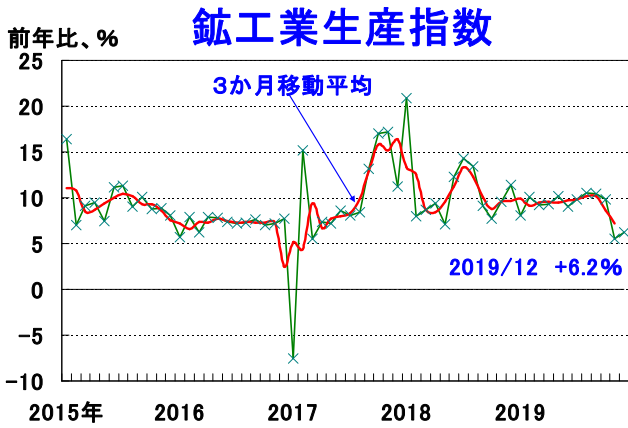
指標	景気全般	輸出	小売売上高	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	↓	↓	↑	↓	↓

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。



(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。